

経営比較分析表（令和元年度決算）

富山県富山市 富山市市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 その他
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透 I 訓 方	救臨が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	増設配置	
415,765	41,606	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
539	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
50	6	595
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
503	-	503

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

高度急性期及び急性期医療を担う中核病院として、高度で専門的な医療を提供することに加え、公的病院として、大規模災害時に迅速に傷病者を受け入れるほか、第二種感染症指定医療機関として、感染症患者を受け入れ、良質で適切な医療を提供する役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医療収支比率は類似病院の平均値であるが、経常収支比率及び病床利用率は低い値、累積欠損比率は高い値となっている。これは、新規入院患者数が減少したことや、平均在院日数が短びたことにより入院単価が減少したことなどによるものである。今後は、救急・紹介患者を円滑に受け入れるなど、入院患者数を増やすための積極的な取組みを行い、早期の黒字化を目指す。材料費対医療収益比率は、後発医薬品の採用拡大に取り組んでいることなどから低く抑えられているものの、入院・外来の患者1人1日当たりの収益が類似病院平均値と比べて低く、また、職員給与対医療収益比率も60%に近い値となっていることから、収益増加に向けた経営改善が必要となる。

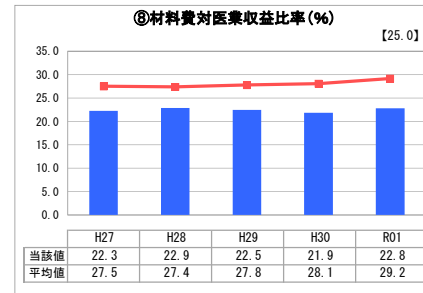
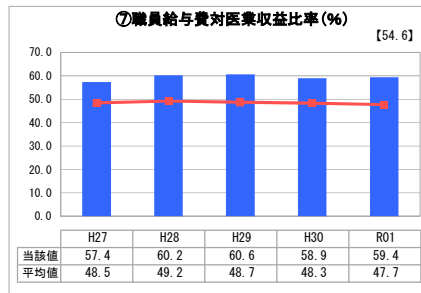
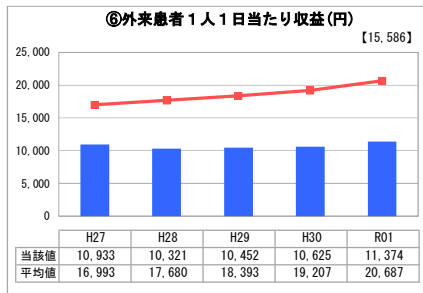
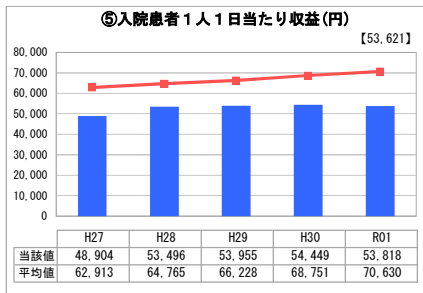
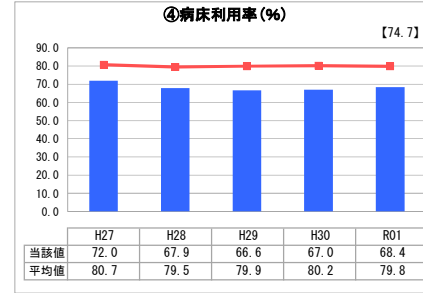
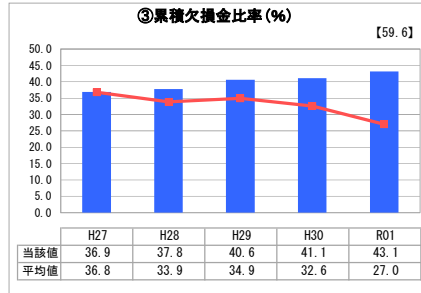
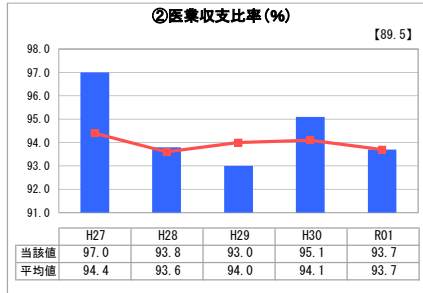
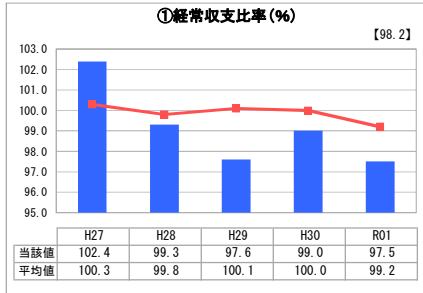
2. 老朽化の状況について

有形資産の減価償却率が類似病院平均値と比べて高く、老朽化が進んでいると言える。実際に、建設から36年が経過し、施設・設備等の老朽化が著しくなっていることから、患者の利便性向上や老朽化への対応を目的として、これまで病棟改修や外来改修等を行ってきた。今後も、病院機能を維持・向上させるための改修工事や設備機器の更新等について、病院のビジョンや中長期的な経営状況、費用対効果等を考慮しながら検討していく予定である。

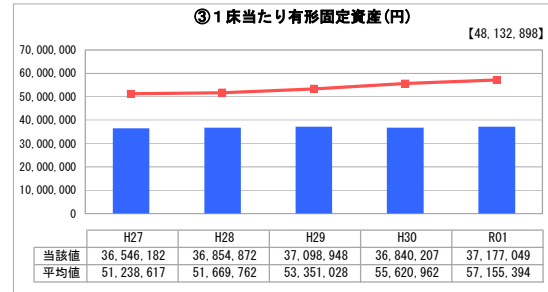
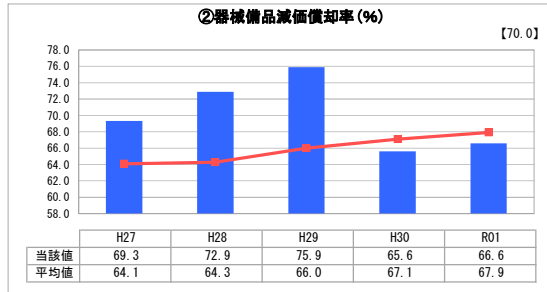
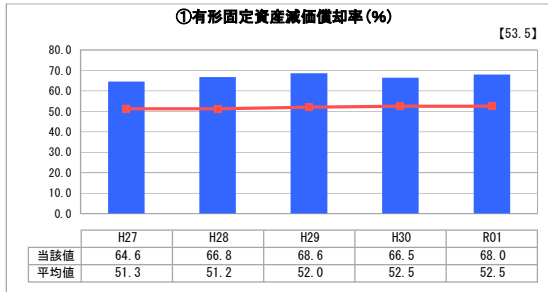
全体総括

R元年度においては308百万円余りの赤字となり、4年連続の経常損失を計上した。今後は、いかに新規患者を受け入れて入院患者数を増やして増収につなげることに加え、硬直化している人件費や各種委託料等の費用を見直しを圧縮するなど、徹底的・本格的な経営見直しを図る必要がある。また、市民に「選ばれる病院」として、ソフト面からも当院の魅力を高めていく必要がある。加えて、富山市病院事業局では令和元年度末に中長期計画を策定しており、この計画に定めた施策を着実に遂行すること、適正な利益を確保していくとともに、富山医療圏における急性期病院として、医療体制のさらなる強化を図り、質の高い医療の提供に努めていく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。